

## 【株式会社 ハタノ製作所 行動基準】

## ＜目的＞

株式会社ハタノ製作所（以下「会社」という）が、社会からより一層支持され、信頼される企業として持続的に発展していくため、活動の規範となる事項を明文化し、『行動基準』として運用していくことを目的としています。

## ＜適用＞

この行動基準は、会社の全ての役員及び従業員（以下「私たち」という）に適用します。

## ＜制定・発効＞

この行動基準は、会社の役員会が制定し、発効します。

制定日：2014年 3月 11日

発効日：2014年 4月 1日

## ＜改定＞

この行動基準は、社会情勢の変化などにより必要が生じた場合には、制定時と同様の手続きを経て改定します。

## ＜順守担当役員の選任と、教育・研修の実施＞

この行動基準の確実な順守のために、会社は、順守担当役員を選任するとともに、計画的に教育・研修を実施します。

## ＜違反時の厳正な措置＞

私たちが、この基準に反した場合は、厳正に措置されます。役員については、法令あるいは社内規程により措置されます。従業員については、就業規則により措置されます。

## ＜開示＞

この行動基準は、会社のホームページ上で開示します。

## ＜基本理念＞

## ■ 基本は『経営理念』

私たちは、経営理念に基づき事業を進めていきます。

経営理念は、事業の目的と事業活動の基本的な考え方であり、経営理念に基づいて仕事を進めることは、時代の推移、社会情勢の変化、事業規模・事業内容の変化にかかわらず不変であると考えます。

## 『経営理念』

1. **品質最優先で適正な利益を確保し、持続的な発展を目指す**  
良質な商品を提供することが私たちの最大の目的です。一方で適正な利益を確保しつつ売上を最大限に伸ばす努力を継続的に行うことにより、社員の繁栄とその家族の幸せな生活を追求します。
2. **成長と調和に向けて共存の努力をし続ける**  
ハタノ製作所は信頼と調和を基調に、社会、お客様、協力会社と共存共栄へ努力を続けます。
3. **日々、新たな価値を創造する**  
昨日より今日、今日より明日へ想像力を駆使して一步一步改善を図り、会社一丸となって新たな価値創造に向けて努力いたします。
4. **柔軟性とスピードを活かした顧客満足の上向**  
当社の伝統である迅速かつ柔軟性ある対応と形式にこだわらない考え方を活かし、顧客満足を高め魅力ある会社を目指します。

代表取締役 波多野 昇

## ■ 活動の原点は『行動指針』

## 『行動指針』

1. **自律自省** 自らを律して自ら反省する心。
2. **公明正大** お客様の望まれる質の高い製品を提供するために一生懸命働き、公明正大に利益を得る。
3. **原理原則** 当たり前のことを当たり前におこない、人として正しいことを正しくおこなう。

代表取締役 波多野 昇

## 《活動の基本》

私たちは、事業活動の基本となる重要な項目として、次の10項目を明示し、各項目の重要性を真摯に受け止め、活動を行います。

- 内部統制システムとリスク管理
- 法令などの順守
- 情報の活用とセキュリティ
- 品質と環境
- お客様第一
- 製品及びサービスの安全
- 職場の安全衛生
- 人権の尊重と保護
- 共存、共生と社会的責任
- 会社と従業員とのかかわり

### ■ 内部統制システムとリスク管理

#### (1) 内部統制システム

私たちは、経営理念、方針、品質・環境マニュアル、行動基準、その他社内規程などの内部統制システムを設定、運用し、活動の普遍性、有効性、効率性を高めるとともに、会社、従業員、製品及びサービス、事業活動、及び財務報告など、私たちの行動及び発信する情報に対する信頼性を高めていきます。

#### (2) 組織、及び責任と権限

会社は、職能単位を基本とした部門及び職制を設け、必要な人的資源及びインフラストラクチャーを提供し、事業内容、事業規模、社会情勢などに適した組織化を行います。

私たちは、各職能、各部門、及び職制を尊重し合い、内部統制システムで明確にされた各々の責任と権限を活かした活動で、経営理念を実践し、目標の実現を目指します。

#### (3) リスク管理と回避

私たちは、内部統制システムの適切な運用、及び内部コミュニケーションの場を活用することで、想定し得るリスクを管理し、未然に問題を回避するように努めます。

#### (4) 特定リスクへの対応

会社は、法令などに違反の疑いがある事案、人権や労働環境などに関する問題について、専用の相談・通報窓口と仕組みを設け、公正、公平、迅速な解決に努めます。

#### (5) 緊急事態への準備と対応

私たちは、地震、台風などの自然災害、及び火災、交通事故などの緊急事態を想定し、それらに対応する手順を定め、被害を最小限に抑えるように努めます。

また、全員参加の避難訓練などを通じ、日頃から防災意識を高め、適切な準備を心掛けています。

#### (6) モニタリングと継続的改善

私たちは、私たちの内部統制システムの有効性、整合性などを日頃からモニタリングする仕組みを設けるとともに、事業活動の進展や社会環境の変化に伴う新たなリスクを敏感に察知し、内部統制システムとその管理及び運用の継続的な改善に努めます。

### ■ 法令などの順守

#### (1) 法令などの順守

私たちは、法令順守は企業活動の前提であるとの認識のもと、法令を順守するとともに、企業倫理に基づき、常に誠実に業務を遂行します。

私たちは、自らが制定した社内規準・規程などについても厳正な運用を行います。

#### (2) 公正な行動

私たちは、公正かつ自由な競争を尊重し、接待や贈答その他形態の如何を問わず、法令や社会倫理に反して、利益の提供を行わないとともに、個人的な利益供与を受けません。

インサイダー取引は、断じて行いません。

また、反社会的勢力、団体に対しても、断固として関係を持ちません。

#### (3) 法令などの社内徹底

私たちは、法令、社会規範、業界基準などをより確実に順守するため、社内基準・規程などの整備に努めます。

また、事業活動にかかわる法令などに関する情報を、積極的に収集し、教育・研修などの機会を活用して、社内への徹底を図ります。

#### (4) 法令違反の未然防止

私たちは、私たちの活動や社内基準・規程などが、法令などに抵触していないことの確認を、定期的、あるいは新たな活動開始に際し、徹底して行います。併せて、私たちと関係のある他社の活動や業界慣行などについても、同様に確認を行い、法律違反の未然防止に努めます。

#### (5) 法令違反の是正と対処

私たちは、業務に関して法令や企業倫理などに違反する疑いがある場合には、速やかに上司あるいは関連部門などに報告します。

不正な目的でなく、それらの報告をした者が、これを理由に解雇、降格などの不利益な取り扱いを受けることは、一切ありません。このような報告を取り扱うときは、情報管理を徹底します。

また、法令違反などの行為が生じた場合には、速やかにその違反状態を是正し、再発防止を図るとともに、違反行為に対して厳正に対処します。

## ■ 情報の活用とセキュリティ

### (1) 情報の適正な活用

私たちは、経営戦略情報、技術情報、お客様情報など、有用な情報及び情報資産の積極的な活用にあたり、適正な情報収集、正確な記録、適正な利用、保管、及び不要となった情報の確実な廃棄を行います。

### (2) 情報セキュリティの徹底

私たちは、情報の取り扱いにおけるリスクに正面から立ち向かい、情報及び情報資産を安全に運用、管理を行うことが重要な社会的責務であると認識しており、『情報セキュリティ基本方針』を定め、管理体制、社内規程などを整備、運用することで、情報資産の適切な保護に努めます。

#### 『情報セキュリティ基本方針』

株式会社ハタノ製作所は、私たちの情報及び情報資産を企業活動の基礎となる貴重な経営資源として位置付け、それらを適切かつ公正に運用するとともに、そのセキュリティを維持し、継続的な改善を推進することが、極めて重要な社会的責務であると認識しています。

ここに情報セキュリティ基本方針を定め、その実践を通じてお客様やステークホルダーの皆様から信頼される企業であり続けます。

1. 情報及び情報資産を、その重要性和リスクに応じて分類し、各々の特性に整合した管理に取り組みます。
2. 情報セキュリティに関する責任と権限を明確にした体制を構築し、情報資産の効果的な運用とともに、適正な保護に取り組みます。
3. 関連する法令、社会規範などを順守するとともに、自らが定めた社内規程を厳格に運用し、違反に対しても厳正に対処します。
4. 全ての役員及び従業員を対象に、情報セキュリティに関する継続的な教育・訓練を実施し、意識向上とともに情報資産の保全性を高め、維持していきます。
5. 万一、情報セキュリティ上の事故が発生した場合は、原因を迅速に究明し、被害を最小限に止めるとともに、再発防止に努めます。
6. 定期的な点検、監査などとともに、社会環境の変化や技術動向を注視し、情報セキュリティの継続的な改善、向上に努めます。
7. 個人情報については、その重要性に鑑み、別途「個人情報保護方針」を定め、管理、運用を行います。
8. この情報セキュリティ基本方針を、当社のホームページ上で開示します。

2014年4月1日  
代表取締役 波多野 昇

### (3) 個人情報の取り扱い

私たちは、お客様やステークホルダーの皆様からお預かりした個人情報について、その保護が特に重要な社会的責務であると認識し、『個人情報保護方針』を定め、関連する法令や社内規程を順守し、安全かつ適正な管理を行います。

#### 『個人情報保護方針』

株式会社ハタノ製作所は、情報セキュリティのなかでも個人情報の保護が特に重要な社会的責務であると認識しています。

ここに個人情報保護方針を定め、その厳格な運用を通じてお客様やステークホルダーの皆様から信頼される企業であり続けます。

1. 個人情報の取得、利用、提供などに際し、関連法令などの順守とともに、公正な手段によってのみ行います。
2. 個人情報の取得に際し、利用目的をできるだけ特定し、明らかにした上で、その範囲内かつ業務に必要な範囲内でのみ利用します。また、そのための適切な措置を講じます。
3. 取得した個人情報は、秘密保持契約を締結した業務委託先などへ提供する場合、あるいは法令などで提供が求められた場合などを除き、本人の同意を得ることなく第三者に提供しません。
4. 個人情報への不正なアクセス、漏えい、改ざん、破壊、紛失などを防止するため、適切な管理を実施し、維持し、継続的な改善に努めます。
5. 自己の個人情報について、開示、訂正、利用停止、消去などの請求を受けた場合は、本人確認手続の上、適切に対応します。お問い合わせは、当社「お客様相談室」でお受けいたします。
6. 個人情報保護の重要性、及び適切な取り扱いについて、当社役員及び従業員に周知徹底します。
7. この個人情報保護方針に基づき、個人情報マネジメントシステムを効果的に運用し、継続的な見直しと改善に努めます。
8. この個人情報保護方針を、当社のホームページ上で開示します。

2014年4月1日  
代表取締役 波多野 昇

### (4) 他社情報の取り扱い

私たちは、他社情報の入手、利用などにおいて、必要性の吟味、機密の保持、情報漏えいの防止、著作権の侵害防止に努めます。

### (5) 企業情報の開示

私たちは、お客様、株主、及びさまざまなステークホルダーに対して、

当社の経営方針、財務情報、事業活動などの企業情報を、公正、正確、かつ分かりやすく提供するように努めます。

併せて、お客様や社会からの評価やご要望を謙虚に受け止め、事業活動に反映させるように努め、透明性の高い企業であり続けます。

#### (6) 開示情報の内容と方法

私たちは、法令や規則などで開示が求められる情報、及び私たちが開示すべき、あるいは開示が望ましいと判断する情報について、内部統制システムに基づき、公正、正確で十分な内容であるように努めます。

また、開示方法及び時期についても、法令や規則に従うとともに、タイムリーに、かつ公正、公平に開示します。

### ■ 品質と環境

#### (1) 品質・環境方針

私たちは、品質最優先を経営理念に掲げ、顧客満足を追求した高品質で安全、そして環境に配慮した製品をお届けするため、『品質・環境方針』を明確に定めています。

#### 『品質・環境方針』

株式会社ハタノ製作所は、1966年の創業以来、浴槽接続金具の開発、製造及び販売を行っています。当社は、経営方針である「品質は企業の命、お客様第一に徹する」に基づき、顧客満足を追求した製品、すなわち高品質で安全、そして環境に配慮した製品を提供しています。当社は、社会、お客様、協力会社様と高い信頼関係を築き日々新たな価値を創造するために、品質及び環境マネジメントシステムを採用し、その有効性を継続的に改善します。

1. 当社に適用される法規制及びその他要求事項を順守します。
2. 顧客要求事項ならびに製品及びサービス要求事項に適合した製品を提供します。
3. 事業活動、製品及びサービスによる環境への影響を認識し、不適合製品や廃棄物の削減、業務の効率化、省資源、製品や資材の再使用による地球環境への負荷の低減や汚染の防止に努めます。
4. 当社に適合した全社員参加型の品質及び環境マネジメントシステムを確立し、社内教育を実施します。この品質・環境方針は、全従業員へ周知徹底します。
5. この品質・環境方針を一般に開示します。

2013年12月1日  
代表取締役 波多野 昇

#### (2) 品質・環境マネジメントシステム

私たちは、『品質・環境方針』を基に、品質・環境にかかわる業務を的確に推進するとともに、社会やお客様との一層の信頼関係を築くため、ISO9001及びISO14001の認証を受けた『品質・環境マネジメントシステム』を採用、運用し、その適時性及び有効性の継続的な改善に努めています。

私たちは、製品及びサービスの品質だけでなく、当社の事業活動の全ての業務を適用範囲として『品質・環境マニュアル』を制定し、運用しています。

### ■ お客様第一

#### (1) お客様満足

私たちは、私たちの製品及びサービスをご使用いただくお客様、ご購入いただくお客様にご満足していただけることを第一に考えます。

私たちは、私たちの存在、製品及びサービス、事業活動及びあらゆる企業活動を通じ、ご満足していただけるように努めます。

#### (2) ステークホルダー

私たちは、次のような方々を私たちのステークホルダーとして捉え、お客様と同様にご満足いただけるように努めます。

- ・私たちの製品及びサービスの流通にかかわる企業、業者など
- ・施工業者、サービス・メンテナンス業者、関連する建築関連業者など
- ・私たちのサプライチェーンを構成する企業、業者など
- ・私たちの事業活動をサポートしていただく企業、業者など
- ・私たちの事業を管轄する行政機関、関連する業界団体など
- ・私たちの事業所がある地域の地域住民、行政組織など
- ・株主及び資金提供者など
- ・従業員及びその家族など

### ■ 製品及びサービスの安全

#### (1) 安全性の最優先

私たちは、経営理念に掲げている「品質最優先」の中でも、安全性を最優先、最重要事項としてとらえ、研究開発、生産、販売にあたります。

製品及びサービスを使っていただくお客様、及び施工、サービスなどの業者様を含め、あらゆる機会、場面での安全性の確保に努めます。

#### (2) 情報の提供

私たちは、事故の発生や、安全でない状況の発生を未然に防止し、製品及びサービスを安全に使っていただくため、正しい使用方法などについて、分かりやすい表示や、施工説明などの情報を適切に提供します。

#### (3) 事故発生時の対応

私たちは、製品及びサービスの安全性に関する情報を入手したときは、

直ちに事実確認を行い、原因究明と併せて適切に対応するとともに、事故情報の開示に努めます。安全上の問題があり得ることが判明したときは、社内外の関係部門に迅速かつ正確に報告し、安全性の確保と、事故の拡大、再発の防止のため、できる限りの努力を行います。

## ■ 職場の安全衛生

### (1) 安全衛生方針

会社は、労働安全衛生が全従業員共通の最重要課題の一つであることを認識し、『安全衛生方針』を明確に定めています。

#### 『安全衛生方針』

株式会社ハタノ製作所は、社員の健康と職場の安全の確保が、全ての企業活動の基盤であり、重要な責務であるとの認識のもと、安全衛生方針を定め、運用することで、新たな活力を創造します。

1. 法令、社内規格、及び関連する要求事項を順守します。
2. 安全衛生にかかわるPDCAを確実かつ計画的に運用し、継続的な安全衛生管理レベルの向上を図ります。
3. 事業活動及び会社生活のあらゆる面で、危険・有害要因のリスクアセスメントを実施し、“災害ゼロ”から“危険ゼロ”の、安全で快適な職場づくりを推進します。
4. 衛生管理体制の充実を図り、社員の健康保持及び増進と、健全で明るい職場環境づくりに努めます。
5. 安全衛生に関する教育・研修などを通じて、全社員のスキル及びマインドを向上させるとともに、全員参加の安全衛生活動を展開していきます。
6. この安全衛生方針を一般に開示します。

2014年4月1日  
代表取締役 波多野 昇

### (2) 管理と運用

会社は、『安全衛生方針』に沿った、安全で働きやすい職場環境を確保、維持し、安全衛生水準を高めるため、統括安全衛生管理者を選任、安全衛生委員会を設置、社内規程などを整備、充実し、的確で継続的な運用を推進します。

### (3) 全員参加での推進

私たちは、法令や規則を順守し、安全衛生に関する見識を高め、積極的な活動で、自らの健康は自らが守るとともに、健康で活気に満ちた職場環境づくりを進めます。

## ■ 人権の尊重と保護

### (1) 差別の禁止

私たちは、性別、年齢、人種、民族、国籍、信条、宗教、社会的身分、及び障がいなどに関する差別的言動を、会社内外を問わず行いません。

会社は、基本的人権を尊重するとともに、差別的取り扱いを行わず、雇用における機会均等に努めます。

### (2) 強制労働、児童就労の禁止

会社は、強制労働、意思に反しての就労、児童の就労をさせません。

### (3) プライバシーの尊重

私たちは、個人人の多様な価値観を認め、プライバシーを尊重します。

### (4) ハラスメントの禁止

中傷や誤解を招く誇張した言動、暴力的行為、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどの人格を無視する行為を行うことなく、公正で明るい職場づくりと社会生活に努めます。

## ■ 共存、共生と社会的責任

### (1) 持続可能な社会の実現

私たちは、地球温暖化防止、資源の有効活用、有害化学物質の管理、廃棄物削減などの環境負荷低減に関する取り組みを、事業活動の中で明確に位置づけ、持続可能な社会の実現を目指します。

### (2) 環境に配慮した製品及びサービスの提供

私たちは、研究・開発・設計、購買、製造など、あらゆる段階で環境に配慮し、省エネ、省資源など環境への影響を最小化する製品及びサービスの提供に努めます。

### (3) 個人人の環境意識の高揚

私たちは、業務のあらゆる場面で、環境に配慮した取り組みを実践するために、研修、啓発活動などを通じて環境意識の高揚に努めます。

### (4) 企業市民活動

私たちは、健全で心豊かな社会づくりを目指し、社会と対話しつつ、企業の立場から企業市民としての活動を行います。

### (5) 地域社会との共生

私たちは、自らが地域社会の一員であることを認識し、地域社会との連携を図りつつ、共に発展していくように努めます。

また、自然災害など大規模災害発生時には、関係先と協力しつつ、可及的速やかな支援活動を行います。

### (6) 寄付、賛助活動、公益事業の運営支援

会社は、社会的問題の解決と社会的ニーズへの対応のため、社会貢献と

して意義のある適正な寄付、賛助活動を行うほか、適正な公益事業を支援します。

#### (7) CSR活動

私たちは、ISO26000で規格化されている社会的責任の原則、中核主題などの重要性、及び有効性などを認識し、中小規模組織に相応しいかたちで、内部統制システムを設定、運用し、社会的責任を果たします。

#### (8) CSR報告

私たちは、説明責任を果たすため、また、私たちに対する理解を深め、信頼を高めていただくため、1年に1回を基本として、私たちのCSR活動をホームページ上で報告します。

### ■ 会社と従業員とのかかわり

#### (1) 人材の育成

- ① 私たちは、日常業務の推進を通じ、また、人事制度や教育、研修などを通じて、専門性、創造性、挑戦意欲にあふれる人材の育成と、自らの資質及び能力の向上に努めます。
- ② 私たちは、一人ひとりの人格、個性を尊重するとともに、互いに多様性を認め合い、それを育む風土、制度の維持改善に努めます。
- ③ 私たちは、良識と豊かな人間性を備えた、良き社会人、良き企業人として行動するように努めます。

#### (2) 会社資産の保全

私たちは、ネットワークを含む社内の情報システムや、その他有形無形の会社資産を不正に使用しません。

また、退職する際は、会社資産、業務上の全ての機密情報及び資料などを返却します。在職中に知り得た営業機密、その他企業情報などを、会社の許可なしに開示や漏えいをしません。

#### (3) 利益相反行為の禁止

私たちは、私たち個人の利益と会社の利益が対立する、あるいは対立するおそれのある行為はしません。このような状況が生じる可能性がある場合、あるいは生じた場合は、速やかに上司あるいは関係部門などに報告します。

#### (4) 公正、明朗な労使関係

会社は、従業員がいきいきと自由に活動でき、上司と部下、部門間などさまざまな場でのコミュニケーションが取りやすい職場環境を作ります。

また、従業員の多様性と個性を尊重し、各人の強みや持ち味を生かした能力開発を支援するとともに、能力や成果を公正に評価し、適正かつ明朗な処遇を行います。

### 《事業活動》

#### ■ 研究・開発・設計

##### (1) お客様満足の実現

私たちは、お客様が真に求めているものとは何かを考え、快適で充実したお客様の暮らしの実現に向けた、製品及びサービスの開発に努めます。

また、私たちの研究開発成果が、地球環境の保全、社会道徳などに反して用いられないように努めます。

##### (2) 業者様満足の実現

私たちは、住宅設備関連商材に特有の、施工業者様やサービス・メンテナンス業者様、関連する建築関連業者様などに、省施工、省資源、省工ネなどの新たな付加価値を提供できる、製品及びサービスの開発に努めます。

##### (3) 法令順守と高い完成度

私たちは、法令や規格などを順守するとともに、製品及びサービスの品質、性能、安全性、使い勝手、デザイン、価格、及び環境への配慮などにおいて、より高い完成度を目指します。

##### (4) 知的財産権の活用と尊重

私たちは、研究開発成果を知的財産権として確立、蓄積し、積極的な活用、保護を図るとともに、他者の知的財産権を尊重するように努めます。

##### (5) 規格標準化に向けて

私たちは、公的機関や業界団体などでの規格の統一や標準化に参画するにあたっては、お客様の最大利益を目標とするように努めるとともに、必要な情報を公平、公正に開示します。

### ■ 購買

##### (1) 公平、公正な供給者（調達先）の選定と管理

私たちは、材料、部品、サービスなどの調達にあたり、法令、社会規範の順守、私たちの経営理念や行動基準への賛同に加え、品質、環境、安全、価格、納期などの当社評価基準に沿って、公平な競争機会を提供し、公正に供給者を評価の上、選定を行います。

また、当社調達基準に満たない供給者については、取引停止を含む処置を行い、是正処置を求めていきます。

##### (2) 正しい購買活動の実践

私たちは、法令を順守し、企業倫理に基づいた正しい調達活動を実践し、優越的地位の乱用は行いません。

また、供給者から個人的な利益の供与を受けません。

##### (3) グリーン調達

私たちは、欧州RoHS規制（特定有害物質の使用制限）や、顧客企業様が定める同様の規制の最新版に対応するように努め、それらを基とした社内基準を厳正に運用します。

## ■ 製造

### (1) お客様満足の実現

私たちは、常に、生産性の向上と原価低減に努めます。そして、お客様のご要望に応え、商品を適切な時期に、適正な価格でお届けできる、モノづくりの構築を目指します。

### (2) 法令順守と品質第一

私たちは、法令や規格を順守し、安全、的確で柔軟性の高い生産活動を実践することで、高品質で安定した製品及びサービスを提供し続けます。併せて、モノづくりプロセスの品質向上、モノづくり環境の改善にも積極的に取り組みます。

### (3) 品質確保と生産性の向上

私たちは、公的及び社内の資格取得を推進し、有資格者の適正な配置を行い、併せて、機械化及び自動化を進めることで、高品質の実現、及び高い生産性の維持、向上を目指します。

### (4) 環境負荷低減

私たちは、エネルギーロス、材料ロス、工程ロスなどの低減に努め、省エネ、省資源などに取組みます。発生した廃棄物は、法令などに従って適切に管理し、処理します。

## ■ 品質管理

### (1) 法令、基準などの順守

私たちは、法令、各種の規格、及び社内基準などを順守し、厳正に運用します。また、法令、基準などが正しく理解され、私たちの活動のあらゆる場面で適正に反映されるように、教育・研修などを通じ社内に徹底します。

### (2) 監視及び測定

私たちは、事実及び適正な測定、分析結果に基づき、製品及びサービスの特性を監視し、測定します。監視、測定した結果は、基準に従って適正に管理し、普遍性や客観性を持ったデータとして、不適合品の発生防止などに活用します。また、業務プロセスなどについても、同様に監視及び測定を行い、事業活動全般について、高い品質を確保、維持するように努めます。

### (3) 不適合への対応

私たちは、不適合が発生した場合の対応を、明確に手順化、ルール化し、的確かつ迅速に処置します。また、社外に流出した不適合、及び市場クレームについては、お客様や関係各位に対し、迅速に誠意ある報告を行います。

### (5) フィードバック

私たちは、監視、測定、不適合への対応などから得た、事実及びデータ

を分析し、開発・設計へフィードバックします。

また、リスクアセスメントを進め、潜在的なリスクを早期に特定し、社内基準・規格などの整備、充実に努めます。

## ■ 営業・業務

### (1) 新たな市場創造

私たちは、製品及びサービスの普及を促進するとともに、お客様のご要望と潜在的な欲求を的確に把握することで、そのニーズを研究開発に反映させ、新たな市場を創造していきます。

### (2) お客様対応の基本

私たちは、お客様と接するにあたり、一人ひとりが会社の代表であるとの自覚とともに、謙虚な姿勢と感謝の念を持って、誠実、正確、迅速に対応します。

また、製品及びサービスを適時、的確にお届けするとともに、ご要望やご不満に機敏に対応することで、お客様の信頼と期待にお応えします。

### (3) 契約、及び受発注

私たちは、製品及びサービスの仕様、品質、価格、数量、納期、支払い条件などについて取引契約を締結した顧客に対し、販売活動を行います。また、顧客からの注文、納期については、定められた手順で適切に処理し、その内容は当社販売管理システムで確実に管理します。

### (4) 正しい営業活動の実践

私たちは、法令を順守し、企業倫理に基づいた公正な営業活動を実践し、法令や社会倫理に反してまで売上や利益を追求しません。賄賂の提供や、カルテル・入札談合、取引先への販売価格の拘束など、法令や企業倫理に反する行為は行いません。また、そのようなことが話題となる場には参加しません。

### (5) 広く適切な広報と、事業活動への反映

私たちは、ホームページ、カタログ、展示会など、さまざまな媒体や機会を通じ、当社の経営理念、製品及びサービスに関する情報、技術情報などを、お客様や関連する業者様などに、適切なタイミングで広くお伝えし、企業価値の向上に努めるとともに、常に、お客様や社会の声を謙虚に受け止め、事業活動に適切に反映していきます。

### (6) 公正な内容と表現

私たちは、広報活動にあたり、事実に基づく内容で、社会規範や業界基準に適合した、公正で正確、かつ分かりやすい表現を基本とします。また、差別的表現、個人の尊厳を損なう表現、他を中傷するような表現は用いません。